



■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■ バージョン: CASBEE横浜2017年版v.1.3

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	Brillia 美しが丘	階数	地上5F
建設地	横浜市青葉区美しが丘二丁目10-1	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	108 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年8月 竣工	評価の実施日	2018年3月31日
敷地面積	1,433 m ²	作成者	奈良建設
建築面積	729 m ²	確認日	2018年4月2日
延床面積	3,267 m ²	確認者	奈良建設



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	63%
③上記+②以外の	63%
④上記+	63%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	2.6
温熱環境	3.1
光・視環境	2.9
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

機能性	2.5
耐用性・信頼性	2.8
対応性・更新性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の熱負荷	4.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	5.0
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源保護	3.0
非再生材料の使用削減	3.1
汚染物質回避	2.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化への配慮	4.4
地域環境への配慮	2.8
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	エネルギーの高効率化、躯体の耐久性の向上を基本に、標準的な取り組みが行われた計画としている。	その他 特になし
Q1 室内環境	界壁・界床の仕様を標準以上とし、建築基準法に適合した内装材を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の周囲に出来る限り植栽を配置し、室外環境に配慮している。
LR1 エネルギー	住戸内に断熱材を施工する他、住戸に庇を設け、温熱環境に配慮した計画としている。	LR3 敷地外環境 駐車場にターンテーブルを設け、駐車場入り口で自動車の切り返ししないようにし、渋滞緩和に配慮した計画としている。
Q2 サービス性能	居室の天井高を高くすることにより、居住空間の広がりを高める計画としている。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材を容易に分離可能な工法を採用し、資源の再利用に配慮している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



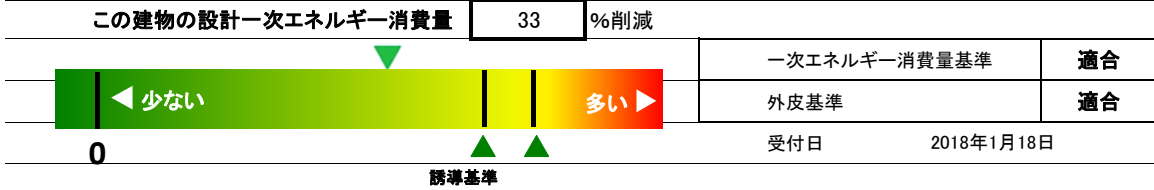
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **Brillia 美しが丘**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当である

③BEI=0.67

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **5**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防 災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯躯体の劣化等級を3とし、構造体の劣化の軽減に努めている。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入